

令和6年度第2回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会 議事録

1 日 時： 令和6年7月10日（水）午後2時00分～午後3時05分

2 場 所： 千葉市役所4階 L会議室401

3 出席者：

（1）委 員 石井慎一委員（部会長）、観音寺拓也委員、望月悦子委員、霞晴久委員、馬場
宏輝委員

（2）事務局

（都 市 局）鹿子木局長

（都市総務課）佐藤課長、瀧本課長補佐、舘主査、池本主任主事

（公園緑地部）小川部長

（公園管理課）佐野運営調整担当課長、和田主査、倉重主任主事

4 議 題：

（1）千葉マリンスタジアム（ZOZOマリンスタジアム）の年度評価について

5 議事概要：

（1）千葉マリンスタジアム（ZOZOマリンスタジアム）の年度評価について

令和5年度「指定管理者年度評価シート」について施設所管課から説明の後、サービス水準向上、改善を要する点等、次年度以降の管理運営をより適正に行うための意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

午後 2時00分 開会

【都市総務課課長補佐】 それでは、委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

ただいまより、令和6年度第2回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を開催いたします。

本日の司会進行を務めます都市総務課課長補佐の瀧本でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、5名全ての委員の皆様にご出席いただいておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項の規定により、本会議は成立しております。なお、望月委員におかれましては、オンラインでの参加となりますのでよろしくお願いいたします。

開会に当たりまして、都市局長の鹿子木より御挨拶申し上げます。

【都市局長】 どうも皆さんこんにちは。7月1日付で都市局長に就任いたしました鹿子木と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は皆様におかれましては、大変お忙しい中、またお暑い中御出席を賜りありがとうございます。また、日頃から本市の都市行政初め市政各般にわたりまして多大なる御支援、御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本日の議題は、千葉マリスタジアムの昨年度の管理運営に対する年度評価についてでございます。千葉マリスタジアムは、千葉ロッテマリーンズの本拠地としてプロ野球興行を行うとともに市民のスポーツ活動、レクリエーション活動、文化活動の場の提供と、大規模集客施設として幕張新都心のにぎわいづくりに寄与する本市としても重要な施設でございますので、運営に当たりさらなる改善を図ってまいりたいと考えてございます。本日は委員の皆様から忌憚のない御意見を頂戴できれば幸いです。

以上、簡単ではございますが、冒頭の御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【都市総務課課長補佐】 ありがとうございます。

都市局長の鹿子木につきましては、本日所用がございますため、これをもちまして退席とさせていただきます。

【都市局長】 失礼いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

(都市局長 退席)

【都市総務課課長補佐】 それでは、議事に入る前に、会議の公開及び議事録の作成について御説明いたします。

お手元の資料3、千葉市都市局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等についてを御覧ください。本日の会議は、1、会議の公開の取扱いの（2）により一部非公開としておりますので、あらかじめ御承知おきください。また、議事録につきましては、2、議事録の確定の（1）及び3、部会の会議への準用により、事務局が案を作成し、皆様に内容を確認していただいた後、部会長の承認により確定させていただきます。

それでは、ここからは石井部会長に議事を進行していただきます。

石井部会長、よろしくお願いいたします。

【石井部会長】 石井です。それでは、ここからは私が議事進行をさせていただきます。会議を円滑に進めてまいりたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

まず、議題（1）千葉マリンスタジアム（ZOZOマリンスタジアム）の年度評価についてに入ります。

資料7-1、令和5年度指定管理者年度評価シートの1、公の施設の基本情報から7、総括（2）市による評価について、事務局より御報告をお願いいたします。

【公園管理課運営調整担当課長】 公園管理課の佐野と申します。よろしくお願いいたします。私の方から説明させていただきます。着座にて御説明させていただきます。

では、資料の7-1をお開きいただけますでしょうか。はじめに1の公の施設の基本情報でございます。施設名称はZOZOマリンスタジアム、ビジョン、ミッションは記載のとおり、それから制度導入により見込まれる効果、成果指標と数値目標についても記載のとおりとなっております。

2の指定管理者の基本情報を御覧ください。指定管理者名は株式会社千葉ロッテマリーンズ、指定期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間となっております。選定方法は非公募、管理運営の財源は、利用料金収入のほか指定管理者の自主事業による収入で、市が指定管理料を負担せず、独立採算による管理運営等を行っております。

3の管理運営の成果・実績を御覧ください。（1）の成果指標に係る数値目標の達成状況です。

1つ目ですが、一般利用による利用者・来場者数10万1,000人の目標に対しまして令和5年度の実績は10万4,466人、達成率は103.4%となっております。

2つ目は、利用者数・来場者数193万9,000人の目標に対しまして実績は252万2,118人、達成

率は130.1%でございました。

3つ目の目標、稼働率90.7%に対し実績は92.7%、達成率は102.2%と、いずれの目標も達成となっております。

なお、利用者数・来場者数約252万人については、今回補足資料一覧ということで、内訳の詳細を示した資料をおつけしておりますので御覧いただけますでしょうか。補足1と書いてある1枚目の資料になります。1が令和5年度利用者・来場者数と書いてございまして、先ほど申し上げた252万2,118人と書いてありますが、この内訳は利用者数、これは例えばイベントで言うと主催者の関係者の人数であるとか、企業の研修などで使われる場合もあるのですが、そういった場合の利用者数を表してございまして、例えばプロ野球興業の入場者なんかはこの下の入場者数のほうに含まれております。

この248万8,591人の内訳が2のほうで書かれております。内訳としましては大きく3つ、(1)から一番下が「3 一般利用」となっておりますが、すみません、これを「(3)」に修正頂きたいのですが、これら3つの項目の内訳から成っております。

1つ目のプロ野球興行での利用ですが、プロ野球興行が入場者数202万6,957人、関連イベントが3万人ということで、全体で205万6,957人になっておりました。

(2)のプロ野球興行以外でのイベント利用が大きく分けて4件ございましたが、X-Games、音楽コンサート5件、それから幕張ビーチ花火フェスタ、それとその他のイベントということで、合計で34万3,264人になっております。

それから最後に(3)の一般利用ですが、野球、大きくは高校野球になるのですが、そういった利用を合計しますと8万5,840人、その他2,530人ということで8万8,370人、合計で248万8,591人となっております。

それでは、また改めて資料7-1のほうにお戻りいただけますでしょうか。2ページのほうを御覧ください。4の収支状況です。

(1)の必須業務収支状況でございますが、アの収入を御覧いただきますと、まずこのZOZOマリンにつきましては独立採算制と申し上げましたとおり、利用料金のみが収入としてあがっております。実績につきましては4億8,799万9,000円、計画との差は、コンサート・イベントやプロ野球興行の開催が増加したことなどによる収入増でございます。

次に、その下のイの支出を御覧ください。実績額の合計が表の一番下に記載しております合計額10億4,032万円となっております。計画との差は1億2,222万6,000円の増となっておりますが、この増加の理由としましては、光熱費の高騰によって管理費が6,415万3,000円増加した

ほか、施設の稼働率向上ですとか興行時の来場者増加に伴って施設管理や警備などの業務が増えたことなどによって、委託費は約2,000万、その他事業費は約3,000万増加しております。

続きまして、3ページを御覧ください。（2）の自主事業収支状況でございます。アの収入ですけれども、36億8,345万9,000円、イの表の支出ですが、12億1,267万7,000円となっております。

その下の（3）の収支状況を御覧いただきますと、これは必須業務と自主事業の全体の状況でございますけれども、必須業務の収支については5億5,232万1,000円の赤字、それから自主事業の収支は24億7,078万2,000円の黒字となっております、全体の収支は19億1,846万1,000円の黒字となっております。

その表の下に米印で利益還元ということで書いてございますけれども、算定の方法については、この注釈の下から3行目に算定式を記載してございます。その2行目に具体的な数字を入れて計算しているのですが、実は先ほど開会前に資料のほうを差し替えさせていただいたので、下から3行目の計算式の一番右端を見ていただくと「 $\div 2 =$ 」という記載があるのですが、当初お配りしていた資料には、下から2行目の数字入りの算定式に「 $\div 2$ 」という表記がございましたので、修正したものに差し替えさせていただいております。

内容の御説明に入りますけれども、この指定管理の基本協定の第70条でこの利益還元についての規定をしているのですが、指定管理者が行った広告看板の設置に伴う行政財産目的外使用料の一部と、もう一つ剰余金を用いて算定した額、これが先ほど見ていただいた算定式により算定した額のことを言っているのですが、このいずれか大きいほうを還元するということになっております。この計算式の計算の結果、利益還元となる使用料の額なのですが、まず広告看板の設置に伴って納付された行政財産目的外使用料なのですが、その総額のうち2億2,264万6,000円という額を利益還元としてみなす、としております。

これは何かと申しますと、行政財産目的外使用料の計算については、ZOZOマリンやフクダ電子アリーナの広告料の計算の仕方がその他と異なっておりまして、広告料収入の一定割合を使用料に付加することとしております。ZOZOマリンスタジアムの場合は、通常、面積×期間×平米当たり単価で算定するのですが、それに加え広告料収入の15%の額を上乗せして支払っていただいております。その15%の額を利益還元としてみなすこととしておりますが、その金額が先ほど申し上げた2億2,000万ほどの金額になります。その金額と、あと剰余金から総収入の額の10%を引いた金額の半分という計算をした結果出てくる数字が、下から2行目に書いてございます4,758万1,000円という金額になります。こちらのほうが少ないので、先ほど

から申し上げています広告料収入分による行政財産目的外使用料の2億2,000万ほどが利益還元額となるというような考え方をしております。つまりは、今回この算定の結果、剰余金に基づいた算定ではなくて広告料収入に基づいた行政財産目的外使用料の金額が利益還元額となり、既に納付されておりますので、それ以上の利益還元はないということで考えております。

御説明はここまでになります。また引き続きこの年度評価シートの説明に入りますけれども、次に、4ページのほうを御覧いただけますでしょうか。

5の管理運営状況の評価になります。(1)管理運営による成果・実績(成果指標の目標達成状況)ということで3つほど目標設定をしている中で、施設利用者193万9,000人の達成というところが今回250万人ほどの実績となりましたので、Aという評価がついております。それ以外は標準ということでCという評価になっております。

(2)の市の施設管理経費縮減への寄与ですが、指定管理委託料はございませんので空欄となっております。

続きまして、次のページ、5ページを御覧ください。(3)の管理運営の履行状況でございます。指定管理者の自己評価ですけれども、2の施設管理能力の(2)をA、それから1の市民の平等利用の確保・施設の適正管理と2の(1)をBとしているほかはCとなっております。対しまして市の評価ですけれども、上半期及び下半期に実施したモニタリングの結果に基づいて評価を行っております。モニタリングの結果につきましては、お手元の資料の資料7-2と7-3、こちらの特に9ページのほうに評価したポイントが書かれておりますので、併せて御覧いただくとありがたいです。市の評価につきましては、研修や訓練によって従業員の能力向上に努めていたことや、施設の利用促進とともに、熱中症対策など利用者の安全に留意した管理運営に努めていたことを踏まえて、2の施設管理能力の(1)と(2)、それから3の(2)と(3)の4項目をBとして、そのほかはCとしております。

では、6ページを御覧ください。(4)の都市局指定管理者選定評価委員会の意見を踏まえた対応で1つ目ですけれども、子供向け施設の整備やAED増設など、運営面での努力がなされている。引き続きの努力をお願いしたい。コロナ禍による厳しかった状況を取り返すため、引き続き丁寧で適切な管理運営をお願いしたいとの御意見をいただいておりますが、アルバイトクルーに対してAED設置場所や災害時初期対応について解説したアクションカードを配布して、従業員の全体的なレベルアップ、アルコール消毒液の設置を継続して感染症対策に取り組んだほか、圧縮ゴミ箱の設置や球場内各所の高圧洗浄により、スタジアムの美化・保全を図っております。

2つ目のほうになりますが、丁寧な管理運営が行われている中、アンケート結果が不透明、施設利用者へのアンケート実施結果を整理し、部会場で報告できるよう努めることとの御意見をいただいておりますが、指定管理者には、球団千葉ロッテマリーンズとして、興行の主催者それから利用者として施設に関わることもありますので、指定管理者の管理運営に対する評価を記載する年度評価シートにおいては、指定管理者として行った施設の管理運営に関する調査結果を適切に記載していくことといたしました。

次に、6の利用者ニーズ・満足度等の把握でございます。

(1)の指定管理者が行ったアンケート調査の結果ですが、年度評価シートには、一般利用者に対して行ったアンケート調査の結果を記載しております。これは施設の利用者、野球での利用者ということになってきますが、そういった方々にお配りして書いていただいたアンケートですので、回答者数のところを御覧いただくと分かりますが、33件と少なくなっております。今回は、それだけではなくて補足資料のほうの2というものにベビールームに関するアンケートの結果を添付しております。こちらも併せて後ほど御説明したいと思います。

まず初めに、年度評価シートのほうから御説明をさせていただきますが、主な内容を御紹介しますと、利用者の属性については、住まいは市内42%、隣接市6%、県内が最も多くて45%となっております。年齢層については、回答者が10代から40代までの方となっておりますが、そのうち二、三十代が8割を占めているという状況です。利用内容は野球が100%、グラウンドコンディションは大変良いが96%、1こま2時間としている利用時間について十分であるが81%、それから利用料金は68%の方が妥当であると回答して、安い、やや安いという方も32%いらっしゃったと、それからスタジアム利用の調査方法ですが、千葉ロッテマリーンズの公式ホームページが54%となっているほか、施設や市のホームページを合わせると29%となっております、ホームページを通じて情報を得ている方がほとんどであるということが分かります。利用回数は、2から5回という方が最も多くて44%で、次いで5から10回が20%、20回以上が16%と、複数回利用いただいている方が多い状況が見てとれます。

次に、補足資料2のほうを御覧いただきたいのですが、ベビールームに関するアンケートとなります。これは指定管理者が、乳児・幼児連れの来場者向けのサービス向上のため今年3月にベビールームをオープンしたので、プロ野球興行の際にアンケートを取りまして、利用者の属性や施設・設備に対する意見、要望などについて調査を行って取りまとめたものとなります。施設についてなんですが、以前、指定管理者が設置していた託児所を現地調査のときに御覧いただいた方もいらっしゃるかと思うんですが、こちらのほうはコロナ禍以降休止していたんで

すが、以前よりベビールームの要望がありましたので、そちらのほうに改装しまして3月に供用を再開したところでございます。施設はスタジアム2階の1塁側にあるのですが、施設内の様子がアンケート結果の取りまとめの裏側に写真を掲載しておりますので、参考に御覧いただきたいと思います。内容としましては、鍵付きの授乳室とかあとおむつ台、それからプレースペースとウォーターサーバーなどとなっております。

アンケートなのですけれども、この利用者の方に対して設備に対する満足度、要望を、ルーム内にQRコードを貼りつけておりまして、それをスマートフォンで読み取って回答いただく方法で実施しておるということです。調査については、供用開始の3月から今年5月まで、年度を越えてしまっているのですが、行っておりまして、47件の回答を得た結果として今回御説明させていただきたいと考えております。

その結果のほうにお戻りいただくと、施設については、まず3番のアンケート結果の概要のところに結果の概略だけ書いてあるので、そこだけ読み上げさせていただきますが、施設については大変満足、満足が5割を占めて、普通は三、四割であるなど、おおむね満足されていることが伺えると、ただ、おむつ台が狭くて不満という回答も2割程度あったということです。要望としては、ルーム自体が狭くて混んでいるので授乳室の数自体を増やしてほしい、スペースを広げてほしい、それからプレースペースへのおもちゃの配置といったようなことが挙げられていました。その他の意見としましてはベビールームの増設、4階まで行けるエレベーターの設置、子供向け用品・食品の自販機の設置などの要望のほか、施設について個室に鍵がついていることや女性スタッフの配置、ウォーターサーバーからお湯が出ることを評価する声などが上がっておりました。

以上が、昨年度の委員会でいただきましたアンケートに関する御意見に対応した取組の一つとして、今回御紹介させていただいたところです。今後、プロ野球興行の来場者に向けたアンケートも含めて適切に実施して、施設やその管理に対する要望を的確に把握して魅力的なスタジアムの運営に反映していくため、指定管理者と適宜調整を図りながら取り組んでまいりたいというふうに考えております。

それでは、年度評価シートのほうに再びお戻りいただきたいのですが、6ページのほうを御覧ください。6ページの一番下(2)の市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応となります。8月に開催されたコンサートで熱中症疑いの症状が多発して、施設管理者がアリーナ席に糖分を含む飲料の持込み制限を行っていたことについて報道がされたということがあったのですけれども、昨年8月に開催された音楽コンサートでのことだったんですが、実際に開

場から開演までの時間が非常に長く、人気のあるアーティストをなるべく前で見たいという方々がアリーナ、つまり人工芝の上にシートを敷いてあるのですが、そこにずっと長時間いた関係で、どうも熱中症疑いの方がかなり続出したというような状況がありました。そういう続出した中で、救護所の数や規模が限られているものですから、そこに集中してしまって処置が受けにくいという状況が発生した経緯がございました。

こういった救護所の設置については主催者のほうが備え、準備をしていたのですけれども、こうした状況の発生を受けて指定管理者としても急遽救護所を増設するであるとか、それから冷房の効いた部屋を別途用意するであるとか、そんな対応を協力して行ったということがございました。人工芝を、糖分を含む飲料を持ち込んでもし仮にこぼされるとプロ野球のプレー環境に影響があるということで、今までは持込みを制限していたのですけれども、イベントのときについては、シートを満遍なく敷くことを条件にして持込みは可能とする運用を、その直後の9月のコンサートのときから適用して対応したというような経緯がございますので、併せて報告させていただきます。

それから次、7ページのほうをお開きいただけますでしょうか。総括となります。指定管理者による自己評価、総括評価はBとなっております。その所見をかいつまんで申し上げますと、感染症の影響もなくなり成果指標を達成できた。一般開放では、野球だけでなくウェディングの前撮りやプロポーズなど、特別感のある利用がなされた。野球利用とバランスを取って今後も継続していく。多くの来場者が訪れるため、日々の訓練・点検を計画どおり実施した。年度末には、プロ野球興行中の発災に備えマニュアル整備やアクションカードの配布を行った。施設老朽化が著しく修繕箇所が増えて修繕費が大きく超過した。来場者の安全確保のため、市と協議を行いながら計画的な修繕、施設改善に努めたいとのことです。

次に、(2)の市による総括評価はBとしております。所見の欄ですが、今の指定管理期間で初めて3つの成果指標とも達成しました。スタジアム従業員の育成・能力向上に継続的に取り組み、多くの来場者を迎える中、大きなクレームなく施設の管理・運営を行うことができた。夏季のコンサートで熱中症疑いの患者が多発した際は、主催者と協力して利用者の安全確保に留意して適切に対応していた。安全に留意して施設修繕に積極的に取り組み、基本協定に定める額を超える修繕が実施されたと記載してございます。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

【石井部会長】 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の御報告に対しまして委員の皆様の御質問等ございましたら、

御発言をお願いします。

どうぞ。

【観音寺委員】 7-1の6ページに6、利用者ニーズ・満足度の把握ということで、一般利用者33件のアンケートの結果があるのですが、その詳細資料を探したんですが、見当たらず、7-5の事業報告書にも1ページめくると目次があって、3にモニタリングに関する事項ということで利用者アンケート実施状況とか、目次はあるのですが、その……

【石井部会長】 目次のページ数は全然ずれています。53ページ。利用者アンケート実施状況が出ています。7-4も目次のページ数に若干のずれがあるみたいです。

【公園管理課運営調整担当課長】 失礼いたしました。申し訳ございません。

【観音寺委員】 このアンケート、こういうふうになってしまうと、これでどう分析したのか全く分かりません。月ごとに出してはいるのですが、単にやっただけ感があって、利用者というのは先ほどの補足資料を見させていただいても、このペーパーで言うと一般利用の野球の人ということですかね。8万5,000人の中ですよ、比率としては。その中で33人ということで非常に少なく、これで利用者の声というのを拾えているのかなという疑問があります。あと、実施計画を見ると来場者もやるという話になっていましたが、ないようなのでやっていないのかなという気はしています。7-4の21ページですか。来場者アンケート質問内容まで書いているのにやっていないのかなと、私が見つけ切れなかっただけなのか、多分ないと思うのですね。

一般利用者もちろん重要なのですが、来場客を見ても250万人近くいる中の248万人がいわゆる入場者ですよ。ここの層の様々な課題認識とか問題とか御意見、千葉市民だけじゃないかもしれませんが、いらっしゃるなという中で、今は記載のアンケートで終わっています。ベビールームのアンケートを別途取っていただいたのは評価できる場所ではあるのですが、根本として大多数を占めるマリンスタジアムへの野球観戦等々の来場者の声というのが出てこないというのは、逆にどうしてなのかなと思うのですが、何か分かりますか。

【公園管理課運営調整担当課長】 マリーナについては、前回の年度評価シートのほうからかなりアンケートの出し方に対して非常に慎重になって……

【観音寺委員】 前もそんな話がありましたよね。

【公園管理課運営調整担当課長】 そうですね。ただ、委員がおっしゃるように、アンケートというのは利用者のニーズを把握する大切な手段でありますので、今回はベビールームのアン

ケートだけしか御提示できていないのですけれども、今後についてはしっかりと大多数を占める入場者の皆さんにも意見、要望を聞けるような形は取っていきたいというふうに考えています。

【観音寺委員】 我々も会社としてアンケートを取りますし、委託を受けてやることもあります。アンケートを取ることで例えば個人が特定されちゃうとか、自由意見の中でかなり辛辣な話だとか、何かそれによって誰かに御迷惑をかけるとか、そういう話があってこれは出せないとかあると思うのですけれども、これは調査はやってはいるけれども、出していないというだけなのですか。

【公園管理課運営調整担当課長】 球団としてのアンケートはやってはいるのです。

【観音寺委員】 実施計画書に、21ページにある事業計画書ですか。ここにある項目では聞いているけれども、千葉市には報告をしていないということなのですかね。だとすると、事業計画書というのは、これはロッテマリーンズとして千葉市に出している計画表ですよ。

【公園管理課運営調整担当課長】 はい、そうです。

【観音寺委員】 ちょっと何かおかしい気がします。何が問題になっているか全然分からないのですけれども、これはこういう理由だから出せないという項目があれば致し方ないと思うのですけれども、例えば施設に関する要望とかで設備に対する要望とか、それは全然関係ないじゃないですか。話としての、言い訳がきつと何かあるのでしょうかけれども、それはちょっと違うのではないかなという気がしますね。

【石井部会長】 今のアンケートに関連するところで何か御質問や御意見があればどうぞ。

私からもあれなのですけれども、その今の7-4の21ページのアンケート実施報告というところで、アンケートを実施する予定です、実施・集計後は千葉市に報告いたします、アンケート結果については分析を行って施設運営の改善に反映するよう努めますという記載があるわけですが、千葉市へ報告はされているのですか。

【公園管理課】 いいえ、されていないですね。

【石井部会長】 そこはロッテ球団と言いながらも、指定管理者としてのロッテがやりますと言っていてやっていないのはまずいのではないのでしょうかね。千葉市としてもしっかりとそこは言っていないと。

あとモニタリングのところで見ると、例えば7-2の5ページで（5）の利用者意見聴取というところでア、利用者意見の聴取で、自ら一般利用時における利用者アンケート、イベント来場者に向けたアンケートで提案書30ページと、この提案書の内容が今この冊子の中にないの

ですかね。自分でどういう提案をしていたのか、そのとおりやっているのかというところは突っ込んでいってもいいのかなと、なので、このモニタリングのときにもう丸になっていますけれども、やった報告が来ていないわけですから○にならないのかなという気がします、それを市の方に言ってもあれなのですから。かつ、去年の指定管理者の意見としてちゃんとしてねと、部会場で報告できるよう努めていただきたい、と言っているからこれです。

さらに突っ込むと、この公の施設の基本情報のところに、7-1のところにあるとおり、ミッションとして掲げられているのが4項目ありますけれども、それぞれのミッションに対応する形でのアンケートは取っていないことになっちゃいますよね。野球場を野球として利用した人、これは野球場を貸し出すだけですという施設であれば、まさにこれでいいと思います。球場利用者のアンケートですから、グラウンドを使った人の。だけど、そうじゃなくてミッションとしてそもそもここに4つ掲げられているわけですから、これについてどうなのかというところのアンケートは必要なのだろうと、そうするとそれぞれのプロ野球もそうですし、プロ野球以外の興行もそうですし、あと一般利用も野球場をグラウンドとして使った人じゃない一般利用の人たちにも聞いていかなきゃいけないのではないかな。施設の設備がどうなのかということも全くこの中に表れてきていないですから、以前はいろいろ施設に対する意見も上がっていましたよね、汚いだとか、どこがどうだとか。そういうことも全く上がってこなくなっちゃっていますから、ちょっとこれは問題なのではないかなと、252万人とか利用者がいる中でアンケートはこの三十何件というのは、ちょっといかなものかなと思ってしまいました。

【公園管理課運営調整担当課長】 申し訳ございません。来年度に向けては、昨年度に引き続いてしまいますが、事業提案書それから事業計画書に書かれている項目そのままではないかもしれないのですが、球場の来場者も含めた意見、要望が適切に把握できますように心がけて、指定管理者と協議をして適切なアンケートの実施に努めたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

【石井部会長】 外に開示したくない、できない情報があるということであれば、それはそれで置いておいてほかの部分はちゃんと出してほしいのではないかなと。

【観音寺委員】 実際アンケートは記名式・無記名式とかありますけれども、仮に記名だったとしてもある程度固まりの中で集合処理していきますので、誰がどうという話ではないです。何割がこれに満足しているとか、していないという話なので、取った人に対しての迷惑というのは一切かからないように統計処理できるはずですし、それは理由にならないと思うんですよね。多分御説明いただいた御本人も、多分そんなに言い訳がよく分からない部分があるじゃな

いですか。出せない理由は絶対ないですし、または、絶対出せないのだったら正式に書面で理路整然とちゃんと言ってくれないとおかしいのではないかなと思います。

もう一点いいですか。

【石井部会長】 すみません、ちょっと1点だけ、ミッションにプロ野球興行において選手が安全にプレーできる環境を整えるとありますので、これはプロとして使っている選手にもどうなのかと聞いてみてもいいのかなという気が今しました。蘇我のほうで実際プレーする選手に芝の状態はどうですかというのを聞いたりとかして、その結果を聞いているということもありますから、プロの球場としてどうなのかというのも1つ聞いてみてもいいのではないかなという気がします。すみません。

では、観音寺委員どうぞ。

【観音寺委員】 すみません、併せてもう一個聞きたかったのが、7-1の5ページに2の(2)施設の維持管理業務の中で修繕費2,500万に対し3,800万円を消化、緊急性の高い箇所や予防修繕となる箇所を重点的に実施とあって、またその7ページの総括評価の中でも施設の老朽化が著しい話等々があって修繕費を大きく超過したと記載されています。設定修繕費を超えたというのは、多分1,300万ぐらい多めにロッテさんが出して修繕されたということで、これ自体は必要性だとか老朽化対策ということで良いことだと思うのですが、本来これはどっちがやるべきものだったのかなという疑問があります。例えばよく言われる指定管理者が軽微な100万以下とか指定管理者、それ以上のハードの大きな部分は市とかあると思うんですけども、これは内実としてはどういう感じだったんでしょうか。

【公園管理課運営調整担当課長】 基本的には小規模なものとはいえ1件数百万とか1,000万を超えるようなものもあつたりしましたので、感覚的には例えば建物の基本的な性能維持に係る大規模な改修に当たるのではないかと、そんな感覚がロッテ側にはあつたりもして、我々としてはなかなか予算の範囲でしか対応ができない中で、お客様の安全とか、興行が行われる施設ですので、どうしてもサービス低下につながるものは放っておけないのでやらざるを得ないということで、手を出していただいているようなところは確かにございます。

【観音寺委員】 そうすると市としては、市がやらなきゃいけなかったけれども、ロッテさんもやってよみたいな話だったのでしょうか。とすると、何となくお願いしちゃっている部分、予算措置しないでもうあっちがやってくれば助かるじゃないですか。そういうことが例えばアンケートが出てこなくてもしょうがないねとか、何かつながっちゃう気がします。いわゆる小さな箱じゃないので、大体大きくなっちゃうと大規模修繕に当たっちゃうのかもしれないの

ですけれども、その決め事というか、それが都度都度起こるのでどのレベルというのは言いづらいと思うのですけれども、でも、予算措置できないからそのままにしておけないという話があるかもしれない。であれば翌年度に予算措置できた段階で払うだとか、または追加のときにはその部分を含めて何か対応するとか、何かそういう対応をしていかないと、ロッテ側もこの1,300万を出してやってみたいな話になっちゃうかもしれないですし、そこはどう考えているというか、今後も含めてどうなのでしょう。

【公園管理課運営調整担当課長】 あ施設のにつきましては、御存じかと思いますが、今在り方自体を見直していて、それでおおむね10年間程度は継続して使うことになります。

【観音寺委員】 そうなのですか。

【公園管理課運営調整担当課長】 はい。ですので、少なくとも必要な修繕は継続的に行っていく必要があるのと、あと、ある程度計画的にやっていく必要があるという考えから、今年度、修繕箇所の調査というのを進めることにしています。その中でおおそマリーンズさんにやっていただく部分と市が計画的に予算を取りながらやっていく部分とで区別をしていけるだろうというふうに考えておりますので、今直近でそういうちょっと余計にロッテが払っているようなそういう感覚をお持ちのところは、少し払拭できるのかなというふうに考えております。

【観音寺委員】 何となくこの総括評価とかを読んでいると、やったんだぞというオーラを感じて、市もあまり強く言えないのかなんていうちょっと邪推してしまいました。そうになっちゃうとアンケートを出せとか言いづらくなったりするじゃないですか。そこをちゃんと線引きしながらやっていって、出すものは清々としてもらうみたいなはっきりとした対応というか区別が必要だと思います。特にこれだけ金額が大きい、もちろん指定管理料を払っているわけじゃないのですけれども、大きな施設なので明確な対応が必要かなという気がしました。

以上です。

【石井部会長】 令和4年度でも収支で10億、令和5年度でも19億あるうちの何千万ですからというのがあってはいいのでしょうか。ここでこれだけ稼いでいるのだから、自分の稼ぐ箱をちゃんときれいにしてよと、市としてはちょっとぐらい言ってもいいのかなという気がしないでもないです、逆の話になっちゃいますが。

【公園管理課運営調整担当課長】 そうですね。本当に協力いただけるところはお願いしたいという気持ちもありますし、協定上の2,500万円というのも特に上限というわけではないので、その辺はそのときの状況を踏まえて両方で協議をすればいいだろうという思いも一方ではあるんですが、確かにちょっとそういう受け止めは、ロッテ側の受け止めとしては少し多めに負

担しているという感覚はどうしてもあって、さっき観音寺委員も言われた部分で、あまり千葉市として引け目を感じないようなそういうようなスタンスは維持していきたいと思いますので、その辺に留意しながら。

【石井部会長】 ロッテ側がマイナスになっていけばね。大幅にプラスになっていますから、引け目を感じることなく稼がせてやっているのだからと、もっと良くしてもっと稼いでよという方向でもいいのかなと個人的には思います。

【観音寺委員】 利益の還元をしていませんしね。これがかなり稼いだ分で還元もしているといえ、一応先ほどの説明の中で広告看板の話も含めて、これがゼロのことは別にそれはそれで、そう決めたのでいいと思うのですよ。でも、19億稼いでいるのですからという思いもありますよね。

【石井部会長】 そのほか。

どうぞ。

【霞委員】 今の話とちょっと関連するのですけれども、収支の話で、必須事業と自主事業があまりにバランスが悪いのですよね、結論を見ると。これは構造的な理由があるのか、会計の世界は費用収益対応の原則といいまして、費用と収益は大体拮抗するものじゃないでしょうか。なので、収入がこんなにアンバランスで、果たして支出の集計が本当にこれでよかったのかどうかというのはあるのかなと思ひまして、その辺の構造的な問題なのかどうかというところでちょっとお聞きしたいのですけれども、よろしくお願いします。

【公園管理課運営調整担当課長】 通常の指定管理施設であれば、管理コストについては、総額の一部は利用料金からの収入と足りない部分を市が指定管理委託料ということでお支払いしているのです、当然そこは均衡することになるのです。ですが、ZOZOマリンスタジアムについては、そもそもプロ野球興行をやる前提でロッテマリーンズに指定管理に入ってもらっていますから、そこは広告料収入を含めて自主事業として稼ぎ出している部分を必須業務のほうの管理コストに充てる形で、必須業務の中ではそれを均衡させるという、そういう考え方をしています。

【霞委員】 それぞれの支出項目の集計自体に問題があるわけではないということによろしいですか。

【公園管理課運営調整担当課長】 というふうに考えています。

【霞委員】 この構造はずっと続くと。

【公園管理課運営調整担当課長】 今の形、仕組みで続ける以上はそうなるというふうに考え

ています。

【霞委員】 了解しました。

【石井部会長】 そのほかいかがでしょうか。

では、よろしいでしょうかね。

それでは、1、公の施設の基本情報から7、総括（2）市による評価については以上で終わります。

続きまして、7、総括（3）都市局指定管理者選定評価委員会の意見についてですが、次年度以降の管理運営をより適正に行うための意見または助言など、委員の皆様、よろしくお願いします。

【望月委員】 すみません、よろしいでしょうか。

【石井部会長】 はい、どうぞ。

【望月委員】 今、皆さんから出ていた意見とかなり内容は重複すると思いますが、自主事業でダンスアカデミーなどをやられていて、それが結構好評だったということが書かれています。この施設の中でダンススタジオはそれなりの面積を占めていますし、利用者の数のバランスを見ても、施設全体としても状況を正しく把握するためには、一般利用の野球場だけではなくてその他全体的にアンケートを取るべきだと思いました。

資料7-4の38ページを見ると、利用者アンケートフォームの例が事業計画の中で出されています。ここではあくまでも例として示されていますが、おそらくこのスタジアム利用者アンケートが別のダンススタジオや保育施設に展開されたようです。最初の段階できちんとアンケートも計画の中に組み込んでおかないと、日々の業務が忙しいので、新たに専用のアンケート用紙を作るということをやり損ねている感もあります。聞く内容も場所ごとに変わってくるといいますので、事業計画の最初の段階で、全ての施設に対してきちんとどう評価するかということを、具体的にやる内容を最初から決めた上で年度の初めに施設管理に取りかかっていくべきかと思います。以上です。

【石井部会長】 ありがとうございます。

観音寺委員、どうぞ。

【観音寺委員】 先ほどの指摘と、たった今の望月委員の御意見とも重複しますが、施設自体の運営はロッテさんが慣れている。非公募の施設ということもあるので、そこに対する議論ではなくて、より利用者それから参加者、観客というのですかね。いわゆる野球の利用者と観客というのはまた全然違うカテゴリーだと思いますので、今、望月委員も言ったようないろいろ

な団体に対するアンケートもそうですし、声を集めながら今後についての検討をするというそのスタンスが非常に重要なという気がします。そこは真摯に御対応いただいて、また、来場者は多分相当の数がいまして、それを今さら紙で配るという時代でもないの、ウェブのQRコードを用意してフォーマットにアンケートを作って実施してほしいと思います。多分ロッテさんはたしかファンクラブか何かでやっていた気がするのですが、ファンの視点とそうじゃない、相手チームの観客なんかもいると思いますので、それが例えば北海道から来ましたとか大阪から来ましたみたいな人もいます。いろいろな人がこのスタジアムを使う中で、もちろん千葉市さんとしては市民の意見が重要なのでしょうけれども、事このスタジアムに関してはいろいろな方々が来場されるので、ウェブのQRコードなんかを使ってアンケートに御協力いただくとか、その際には何か簡単な粗品か何かを渡すとか、幾らでもやりようがあると思いますので、なるべくいろいろな多くの意見を集めて施設の管理改善等々につなげていただくように努めてほしいなというふうに思います。

以上です。

【石井部会長】 馬場委員、いかがでしょうか。

【馬場委員】 大体皆様に発言いただいたのであえてということであれば、ビジョンにある市・県民のスポーツ・レクリエーション活動というところで、プロ野球の興行だけではなくて市民のスポーツ実施率向上につながるような何かそういう取組とか、キャッチボールができるエリアか何か外にありますよね。なので親子で楽しめるとか、家族で日常的にスポーツができるようなそういう、見る支えるはあるのですけれども、もうちょっと、するに関わるようなそういう取組も、どう考えてもプロの興行で稼ぐというのは分かるのですけれども、そこを何とかうまく市民のスポーツ活動とかスポーツ実施率の向上にも貢献していただけるといいなと思いました。ロッテがやっているから一体感があっていい管理運営ができると思うのですけれども、どうしても本業は興行だと思うので、市民のスポーツ活動につながるようなものももうちょっと何か考えていただけるといいなと思いました。

あとすみません、一言だけもう一つ、管理運営という側じゃなくて市のほうの側への意見になるかもしれないのですけれども、施設が老朽化して施設自体の魅力が減っていくと、もう管理運営はいいやとならないかなという心配もちょっとあり、それは極端なことを言うと、いつまでロッテマリーンズは千葉にいてくれるのかなという、そういうちょっと心配もありますので、その辺どうしていいかわからないのですけれども、そういう危機感も一方で持っていたほうがいいのかなと思ったので、すみません、ちょっとコメントさせていただきました。

以上です。

【石井部会長】 ありがとうございます。

霞委員、いかがでしょうか。

【霞委員】 皆さんがおっしゃるとおり、これだけ大規模なプレゼンスがあるので、もう少し利用者の意見を吸い上げる、いろいろ方法はあると思うんで、SNSとかパソコンとかを使って、QRコードの話もありましたけれども、いろいろなインセンティブをつけたりということも考えながら意見を吸い上げて、今後の運営に生かしていただければよろしいかなというふうに思います。たくさん数を集めれば極端な意見は埋没していきますので、数を集めれば本当に有用な情報が得られるし、匿名性はますます高くなるので有用な情報が得られると思います。

以上です。

【石井部会長】 ありがとうございます。

私もロッテが指定管理をしていて管理運営という意味では優れたものができているのじゃないかなと考えます。また、8月のコンサートで熱中症になってスポーツドリンクとかの持込みはどうなのかという話題が出たときにも、すぐに対応して9月からはできるようになっているというようなところでも、非常にきちんと対応してくれていいのかなと思うところです。蘇我とはちょっと違ってちゃんと収益のほうも上げているということで、非常にいいかと思うのですが、それだけにアンケートの部分、利用者それから観戦した人たちからのフィードバックという部分がきちんとできていないというのが、残念なところかなと思います。特にそこは市のほうもしっかりと対応を求めていただきたいと思います。

【都市総務課課長補佐】 議事の途中で申し訳ございません。ここで公園緑地部長の小川につきまして、所用のためこれを持ちまして退席とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(公園緑地部長 退席)

【石井部会長】 では、7、総括(3)都市局指定管理者選定評価委員会の意見ですが、先ほどいただいた御意見等も含めて部会の意見といたします。なお、市に対して答申する際の文言等の整理につきましては、私と事務局のほうに御一任いただければと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【石井部会長】 それでは、最後に資料7-6、7-7、指定管理者財務諸表から見る当該指

定管理者の財務状況について意見交換を行います。

一部の資料は一般に公開されていない法人等情報を含んでおり、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例施行規則第12条第1項第2号及び千葉市附属機関の会議の公開に関する要綱第2の1の規定により、ここからの会議は非公開といたします。

では、霞委員、よろしくお願いいたします。

（経営及び財務状況に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報（法人等情報）が含まれているため、表示していません。）

では、非公開部分は終わりました。

以上で、議題（1）千葉マリスタジアム（ZOZOマリスタジアム）の年度評価についてを終わります。

本日の議事は全て終了いたしましたので、これをもちまして令和6年度第2回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を閉会いたします。

事務局にお返しいたします。

【都市総務課課長補佐】 ありがとうございます。

ここで最後に、運営調整担当課長の佐野から御礼の挨拶をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【公園管理課運営調整担当課長】 本日はお忙しい中、お暑い中、お集まりいただきまして誠にありがとうございました。また、貴重な意見、御指摘を多々いただきまして誠にありがとうございました。

今後の管理運営におきましては、本日御指摘いただいた点をよくよく踏まえまして、特にアンケートの件ですが、その点につきましては指定管理者と協議をしましてより良い方向に向けて取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

【都市総務課課長補佐】 本日の会議は、これにて終了させていただきます。

委員の皆様、本日は本当にありがとうございました。

午後 3時05分 閉会